

知床科学委員会 しんぶん 河川工作物 アドバイザー会議 No.23



「河川工作物アドバイザー会議」では、災害から生活を守りながらサケ類が遡上できるように、各専門家が行政機関に対して、ダムの改良工事やモニタリング等について科学的視点から助言をしています。しんぶんでは、その活動についての情報をお知らせします。

今回の会議

令和4年7月26・27日に羅臼町・斜里町にて第1回会議及び現地検討会を開催しました。また、令和5年1月26日に札幌市で第2回会議を開催しました。

第1回会議の内容

- 第44回世界遺産委員会決議の対応について
- 第2期長期モニタリングについて
- 河川工作物について

現地検討会の内容

- 羅臼川5号床止工の状況について
- ルシャ川治山ダムの改良、ルシャ川河床路の現況について

第2回会議の内容

- 第44回世界遺産委員会決議に係る保全状況報告について
- 長期モニタリングについて
- 知床世界自然遺産地域管理計画の見直しについて
- 河川工作物の計画・検討について

TOPIC

第44回世界遺産委員会決議に係る保全状況報告について

第44回世界遺産決議に係る保全状況報告が令和4年12月にユネスコ世界遺産センターに提出されたことが北海道森林管理局から報告されました。

この保全状況報告には「今後、ルシャ川ダム改良に伴うサケ科魚類の自然産卵環境の改善、ならびに稚魚の生産効率の向上を評価していく」、「魚類の遡上については、ルシャ川河床路がサケ科魚類の遡上ルートとして支障なく機能しているかなどについて、引き続きモニタリングを実施し、必要に応じて改善を行う」などの今後の方針が盛り込まれています。

第2期長期モニタリングについて

10年を1期として行っている長期モニタリングは令和4年度から次の10年となる第2期の調査に入り、北海道森林管理局より次の説明がありました。

オシロココマ長期モニタリング

より効率的な調査となるように、河川水中の生物DNAを調べる環境DNA解析によるサケ科魚類の生物量推定を実施する。採捕調査を8河川（ルシャ川、イダシユベツ川、イワウベツ川、オライネコタン川、ルサ川、オッカバケ川、羅臼川、知西別川）に絞り込んで実施する。

サケ類長期モニタリング

ルシャ川、テップンベツ川、ルサ川において稚魚降下数調査（対象はカラフトマス、サケ「シロサケ」と遡上数調査（対象はカラフトマス）を隔年で実施する。

羅臼川5号床止工の現地検討



ルシャ川治山ダムの現地検討



ルシャ川河床路の現地検討



採捕した
オシロココマ ▶



◀ 降下した大きな
野生サケの稚魚

※採捕については北海道庁から特別採捕許可を得て実施しています



ルシヤ川の治山ダム

北海道が平成30年から進めているルシヤ川の

治山ダム改良工事は4年目を迎えました



令和4年10月20日の状況（空撮）

ルシヤ川の第2ダム、第3ダムは幅40mの切下げを令和3年までに終了しており、令和4年は最下流の第1ダムの部分的な切下げに着手しました。この部分的な切下げと上流からの土砂供給により、第1ダム本堤と前提の間のプール内に土砂が溜まってダムによる落差はほぼ無くなり、サケ科魚類が遡上しやすい環境となりました。

施工前（令和4年5月30日）



第1ダム

前堤

施工後（令和4年7月27日）



第1ダム

前堤

（令和4年11月8日）



第1ダム

前堤

令和4年秋のサケ「シロザケ」の産卵床数等調査では、第1ダム下流では親魚1尾、産卵床2個だったのに対し、第1ダム上流では親魚158尾、産卵床94個が確認され、多くが第1ダム上流に遡上して産卵したことが分かりました。

サシルイ川の治山ダム

北海道は令和4年の秋から冬にかけて

サシルイ川の第1ダムの改良工事を行いました

これまで第1ダムの左岸に魚道が設置されていましたが、魚道の流入口では増水時に土砂が溜まりやすいことから魚道への流入量を安定的に確保する目的で、斜路形状の石組魚道を設置しました。



施工後

既設魚道内プール部

本堤放水路切り下げ部



施工後

副堤放水路切り下げ部

石組の間にあるいくつかの水の通り道から既設魚道（旧魚道の一部）を利用したプールを経由して、そこからダムに沿った石組と間の水の通り道から遡上するルート（→）が設けられています。



施工前の魚道計画箇所



石組の終了

会議の内容をもっと知りたい方はコチラ

知床データセンター
<http://dc.shiretoko-whc.com/>

■ 問合せ先 ■

北海道森林管理局 知床森林生態系保全センター
〒099-4355
斜里町ウトロ東番外地（国設知床野営場内）
TEL：0152-24-3466

■ 発行：林野庁北海道森林管理局
■ 制作：株式会社 森林環境リアライズ
発行日：2023年3月9日

